

後世につなぐ戦争の記憶

総合政策課総務係 ☎(63)2138



福田 武^{たけし}さん(100歳)

体力の限界まで軍事訓練を行った予備士官学校での過酷な生活や台湾での戦闘の様子を話す。「戦争」を問題を解決する手段から、なくす努力を続けてほしいと訴える。



笹川 恵子^{けいこ}さん(87歳)

小学生で鹿沼空襲を体験。焼夷弾から逃げ惑い麻畑に身を隠した。お気に入りの文鎮を金属供出してしまい、今でも心残り。戦争のない子ども時代をやり直したい、という。



廣田 渡^{わたる}さん(94歳)

16歳で陸軍少年飛行兵に志願。短期間の猛訓練後、マレーに転属。昭和20年1月、特攻要員の命令の下、その訓練に明け暮れた。終戦後、復員するまで厳しい労役に従事した。

鹿沼市では、平成7年に「平和都市」を宣言し、平成9年からは中学生を広島に派遣する事業を行っています。コロナ禍の影響を受け、令和2年度、3年度と派遣事業は中止となりました。これに代わる事業として、「戦争体験を語り継ぐ会」と「鹿沼ケーブルテレビ」の企画・監修により、市内の戦争体験者の証言を記録したDVDを製作しています。このたび、新たに3人の体験談を収録したDVDが完成しました。DVDは、市内小中学校の授業等で活用しています。また、市ホームページでは、「昔語り文集」作成委員会の提供による戦争体験談を掲載しています。（鹿沼市 戦争体験談）



- 「収録」
- ・小野口博さん
 - ・福田 勇さん
 - ・廣田 閑子さん
 - ・濱野 祐郎さん

バックナンバー

閲覧場所

図書館や各コミュニティセンター等でDVDの貸し出しを行っているほか、市ホームページでも動画を公開しています。

編集後記



戦争体験を語り継ぐ会
代表 稲葉 幸枝さん

パンデミックに陥って2年。この間、鹿沼在住の7名の体験談を収録・放映・DVD化できたのは願ってもない、幸運な事でした。しかもDVDが学校教育の場で活用されるということで、未来を担う子どもたちに体験者の声を届けたい、と活動してきた私たちの目的も満たせます。ご出演の皆様にはもちろん、ご家族をはじめ、多くの方々のご理解とご協力の賜と感謝いたします。また制作者の鹿沼ケーブルテレビにもお礼申し上げます。

体験者の声には、多くのメッセージが込められています。自分の身に置き換えて、想像力を働かせ、何かを感じとってほしいです。わかりにくい内容も多々あると思いますが、用語解説などを参考に理解の一助にして下さい。

振り返ると、平穏に暮らしている高齢者から「いまさら」の昔の辛い話を聞き出したことは、何回もありました。忘れかけていたし家族にもあまり話さなかったが、話をすることで、戦争時代を懸命に生きてきたことを思い出して、お礼を言われたことも何度かありました。この活動をしていて良かった、と思うことの一つです。これからも状況が許せば、戦争時代の体験を何らかの形で残していきたいと考えていますので、市民の皆様のみならずのご協力をよろしくお願い申し上げます。